

熊本県立劇場 伝承芸能調査事業 市町村別データベース(天草市)

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
1	天草市	(旧牛深市)牛深町宮崎	牛深おはら		牛深市無形民俗文化財 昭和55年4月1日	旧10月15日	牛深八幡宮	牛深八幡宮獅子とともに、神輿に奉納するはやし唄。【2001】				
2	天草市	(旧牛深市)牛深町宮崎	牛深八幡宮秋季大祭奉納獅子舞		牛深市無形民俗文化財 昭和55年4月1日	旧9月14日 旧9月16日	牛深八幡宮	牛深八幡宮の祭典に奉納するもので、伝承芸能である。【2001】 《構成》雄獅子、雌獅子(ともに2人立)、玉取り2人、太鼓2人、笛40人。【1991】	祭礼 (神社行事)			
3	天草市	(旧牛深市)久玉町内の原	内の原虫追い	うちのはらむしおい	牛深市無形民俗文化財 昭和55年4月1日	6月25日	十五社～内の原地区	田の神を祀って田畑の豊作を祈る。【2001】				
4	天草市	(旧牛深市)牛深町下平	もんつき唄	もんつきうた	牛深市無形民俗文化財 昭和55年4月1日	不定期		穀物つきの意味で杵つきした時代、6～7人が臼を囲み唄で拍子をとった。【2001】				
5	天草市	(旧牛深市)牛深町	牛深ハイヤ節	うしぶかはいやぶし	牛深市無形民俗文化財 平成4年12月2日	春	牛深ハイヤ祭り	現在の牛深ハイヤ踊りは、道中踊りや舞台発表のための創作だが、牛深ハイヤ保存会や牛深高校郷土芸能部の手で受け継がれている。2006.10.31熊日 江戸時代に始まり全国各地にあるハイヤ節系統民謡のルーツとされている。【2001】		牛深ハイヤ保存会		
6	天草市	(旧牛深市)魚貴町	魚貴草刈り唄	おにきくさかりうた	牛深市無形民俗文化財 平成4年12月2日	不定期		魚貴村の本郷から船で魚貴崎の長山びらへ草刈りにいったときの辛さを唄った。【2001】				
7	天草市	福連木	福連木の子守唄		天草町無形民俗文化財 昭和49年2月20日			江戸時代に子守奉公に出された幼い娘たちのつらさや苦しさを歌ったとされ、五木の子守唄の元唄と言われている。【2010.1.31朝日】 歌詞の内容は哀切な子守の心情を唄ったものである。【2001】				
8	天草市	天草町軍ヶ浦	軍ヶ浦十五社神社太鼓踊り		天草町無形民俗文化財 昭和49年2月20日	2月18日 (陰曆)		厳格な指図により執行、挟箱、鳥毛などの行列に獅子舞・太鼓踊りが奉納され【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
9	天草市	天草町大江	大江の新地節と綾竹踊り	おおえのしんちぶしとあやたけおどり	天草町無形民俗文化財 昭和49年2月20日	定期		干拓によって新田を築いた時の祝い唄と踊りである。【2001】 《特色》大江地区の干拓により新田が完成したお祝に始められたという芸能で、新地節に合わせて、踊りが綾竹と呼ばれる50cmほどの竹を持って踊る。【1991】				
10	天草市	天草町大江	大江八幡宮の獅子舞・太鼓踊り		天草町無形民俗文化財 平成4年5月31日	3月・10月 第4日曜日		鳥毛振り・太鼓踊り・獅子舞・みこ舞が大神輿を中心に供奉される。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
11	天草市	福連木	福連木の獅子舞・太鼓踊り		天草町無形民俗文化財 平成4年5月31日	10月21日・ 22日		夜、「当前(とうまえ)」と呼ばれる11人が近くの「御飯屋」前で夜通し太鼓を打ち続け、集まった住民と夜を明かす伝統行事。 【2012.10.22熊日】 五穀豊穡を祈願する祭りで、安永年間より奉納され現在に伝わっている。【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
12	天草市	天草町大江	下津深江神社の獅子舞・太鼓踊り		天草町無形民俗文化財 平成4年5月31日	10月9日		行列は、笛太鼓に合わせて御神輿を中心に挟箱、鳥毛、獅子舞・太鼓踊りが奉【2001】	【伝統芸能】 風流芸			
13	天草市	下田南	小田床菅原神社の獅子舞・太鼓踊り		天草町無形民俗文化財 平成4年5月31日	9月25日 (陰曆) 10月第3日 曜	小田床菅原神社	菅原道真公を祭神としている。挟箱4人、鳥毛、獅子舞・太鼓踊りが奉納される【2001】	【伝統芸能】 風流芸	氏子総代	天草市教育委員会 0969-42-1111	

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願	
14	天草市	河浦町河浦	一町田八幡宮虫追祭	いっちょうだはちまんぐうむしおいまつり	河浦町無形民俗文化財 昭和56年1月20日	7月第3土 7月第3日	河浦町大字河浦(八幡宮～一町田小学校グランド～一町田小学校周辺土手～橋)	五穀豊穡を祈願して行われる虫追い祭は、高さ15～20mもある真竹に五色の吹き流しを付け鐘や太鼓を奏でながら田植えが終わったばかりの田圃を練り歩きました。開催時間:午後3時30分～5時頃(4時頃から行列)【河浦町HP/2005】昔は虫追いの祈願行事としていた。現在は、五穀豊穡を祈願している。【2001】 《特色》虫追い竿と呼ばれる20～25mの竹竿に色とりどりの旗を付けたものを10人ぐらいがそれぞれに持って行列を行う。途中で、竿を掌や肩、額などにのせる、曲芸を見せる。【1991】			河浦町役場 水産商工課 0969-76-1111	五穀豊穡	
15	天草市	河浦町宮野河内	産島八幡宮例祭	うぶしまはちまんぐうれいさい	河浦町無形民俗文化財 昭和56年1月20日	10月第4土 日	河浦町大字宮野河内(上平) 「上平港～(海上)～産島」	宮野河内の無人島、産島の産島八幡宮大祭は神輿が海を渡る祭りとして有名です。初日は、島から出て「お下り」された神輿は海を渡って上平の十五社宮で一泊され、2日目に再び海を渡って島へ「お上り(お帰)」になります。鳥毛・ハグマ・神輿・獅子などの長い行列が丘から海へ続きます。お産、海上交通の神として崇拝されています。【河浦町HP/2005】豊作・豊漁を祈る大祭で、遠方からも多くの人が参拝に訪れる。【2001】			河浦町役場 水産商工課 0969-76-1111	豊作 豊漁	
16	天草市	天草町高浜	高浜八幡宮神幸行列			4月1日 旧2月15日 旧8月15日	高浜八幡宮	春季例大祭は、八坂神社・稲荷神社・諏訪神社を御旅所とし、秋季例大祭は、【2001】 《特色》台傘、立傘、鳥毛、挟み箱の奴踊りと獅子舞い(2人立2頭)と太鼓踊りが演じられる。【1991】	祭礼 (神社行事)			五穀豊穡	
17	天草市	船之尾町	天草殉教祭	あまくさじゅんきょうさい		10月22日	殉教戦千人塚	天草島原の乱(1637)の犠牲者を鎮魂するための宗教を超えた合同慰霊祭、仏式の法要、カトリックのミサがそれぞれ行われる。地元の子供など約500人のキャンドル行列が千人塚を出発、乱の激戦地とされる町山口川沿いを厳かに進み、祇園橋では川に花を投げ入れて犠牲者に捧げる。【2006.10.23.熊日】					世界平和
18	天草市	(旧本渡市)本渡町本戸馬場	本戸馬場八幡宮奉納神楽			10月19日	本戸馬場八幡宮	《演目と構成》剣の舞(男児2人)、浦安の舞(鈴・禰)(女児2人)。【1991】	祭礼 (神社行事)				
19	天草市	(旧本渡市)本町福岡	本町虫追い太鼓			7月16日	本村神社 鈴木神社	《構成》バチ持ち8～10人、太鼓持ち2人、小太鼓1人、笛3人、鉦1人、ほら貝1人、旗持ち10人程度。《特色》バチ持ちが踊りながら交代で太鼓を打つもので、神幸行列で踊られる。【1991】					
20	天草市	(旧本渡市)楠浦町	楠浦の堀切唄			不定		《構成》唄1人、太鼓1人、三味線1人、男踊り3人、女踊り6人、庄屋1人。《由来》元治元年に、楠浦の方原川の大改修を祝って始められたという。【1991】					
21	天草市	(旧本渡市)本渡町	天草招魂祭のおしもん	あまくさしょうこんさいのとおしもん		4月第1土日	中央新町諏訪橋際	天草招魂祭は、毎年4月の第一土・日・月の3日間、桜の名所・南公園一帯を中心に開かれます。この祭りは、日清戦争以後の天草島内の戦没者8,000余柱を慰霊するもので、初日は神式、2日目は仏式による式典がそれぞれ行われ、民謡や舞踊、演舞の奉納行事、献茶式なども実施されます。また、奉養行事として原田悠里杯天草のど自慢大会やラジオの公開放送、盆栽展、各種スポーツ大会が行われるほか、南公園下の南町通りには30を越える露店が立ち並び、遺族だけでなく、花見を兼ねた親子連れや春休み期間中の子供たちなどでにぎわっています。昭和55年に復活した、祭りの名物・伝統民芸“とおしもん”は、現在、保存研究会と市内の小・中学生たちに受け継がれ、毎年、中央新町のスマイルパークに展示。道行く人たちの目を楽しませています。※とおしもん＝木やワラ、紙などを材料に作った等身大の飾り人形【本渡市HP/2005】 《特色》本来は虫追いの行事として木や和紙や藁を使って人形を作ったのが始まりという。【1991】			天草招魂祭奉賛会行事部事務局(本渡市役所商工観光課内) TEL 0969-23-1111(内線1152番) FAX 0969-23-1999		

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合先	祈願
22	天草市	(旧本渡市)本渡町 本戸馬場	本戸馬場八幡宮の神幸行列			10月19日	本戸馬場八幡宮	《特色》行列は、猿田彦一太神一社名旗一金幣一警護の者一ゆうたんーとび口ー鳥毛一合傘一はさみ箱一弓一太鼓一神輿一宮司一子供一たる神輿の順で、途中、奴の踊りが行われる。【1991】	祭礼 (神社行事)			
23	天草市	(旧本渡市)下浦町	下浦獅子舞			10月第3日	下浦神社	《構成》獅子頭(2人立)、玉振り(2人)、笛8人、太鼓1人、ドラ1人、テベス1人。【1991】				
24	天草市	(旧本渡市)下浦町	大名行列			10月第3日	下浦神社	《構成》挟み箱2人、台傘2人、立傘2人、鳥毛数人。《特色》下浦神社の神幸行列で演じられる。【1991】	祭礼 (神社行事)			
25	天草市	(旧本渡市)本渡町	八坂神社獅子舞			7月21日 7月22日	八坂神社	《構成》雄・雌獅子(2人立)、獅子先頭(男児)4人、笛数人。《特色》八坂神社の神幸行列で披露される。【1991】				
26	天草市	(旧本渡市)本渡町	八坂神社鳥毛行列			7月21日 7月22日	八坂神社	《構成》挟み箱、台傘、立傘、鳥毛。【1991】	祭礼 (神社行事)			
27	天草市	有明町上津浦	上津浦諏訪神社神幸行列			10月16日 10月17日	上津浦諏訪神社	《特色》16日の行列の順序は、御幣30～弓10～たて獅子2～供物～神号旗2～金幣7～太太鼓1～小太鼓1～笛7～鼓2～御神刀1～神輿～大傘1～総代15～で、17日は、潮打ち～武者人形～御幣20～弓10～鳥2～櫃2～神号旗2～社号旗2～金幣7～薙刀6～鳥毛35～太鼓1～小太鼓1～笛5～鼓5～武者人形1～神輿～大傘1～青獅子・赤獅子～総代の順である。【1991】	祭礼 (神社行事)			
28	天草市	有明町上津浦	上津浦諏訪神社太鼓踊り			10月16日 10月17日	上津浦諏訪神社	毎年10月中旬、町内上津浦地区で行われる「諏訪神社例祭」で奉納されます。道中踊り、総踊りのほか、歌舞伎をまねた無言劇踊りが行われます。【有明町HP/2005】 《演目》太鼓前踊り、式三踊り、3人踊り、狩人、川の船頭、唐臼。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
29	天草市	有明町	下津浦諏訪神社神幸行列					《構成》《特色》【1991】	祭礼 (神社行事)			
30	天草市	有明町	下津浦諏訪神社太鼓踊り					町内下津浦地区で毎年10月中旬に行われる「諏訪神社例祭」で奉納されます。若者が昇龍に波を配した衣装をまとい、「法界坊」「熊谷」などの無言劇が演じられます。【有明町HP/2005】 《構成》《特色》【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
31	天草市	有明町	島子の太鼓踊り					天草、島原の乱後、民心安定のため、初代宮司が創作したとされ、歌舞伎を題材にした12の無言劇を奉納する。【2012.10.22熊日】 毎年10月中旬、町内島子地区で行われる「諏訪神社例祭」で奉納されます。歌舞伎をまねた太鼓踊りでは、笛、鼓の楽に合わせて無言劇「狐忠信」「いざり勝五郎」などが演じられます。【有明町HP/2005】 《構成》《特色》【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
32	天草市	有明町大浦	大浦阿蘇神社神幸行列			10月第3日	大浦阿蘇神社	《特色》行列は、小獅子一対～警蹕1～潮打ち1～神一対～国旗1～御幡旗一対～面鏡一対～祭鈴一対～奴組8～鷹匠2～薙刀組12～弓組6～鉄砲組6～鳥毛組30～潮打1～御幡旗一対～御神灯一対～四神器の龜と竜～御供物13～御膳部2～神籠2～神号旗1～金幣1～御幣4～御神刀1～御神輿(昇手8)～神宮1～巫女4～使丁～大傘～長槍～氏子総代～御神灯～四神器の虎と鳥～楽組太太鼓4～鼓10～笛11～社号旗2～小獅子2の順である。【1991】	祭礼 (神社行事)			

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
33	天草市	有明町大浦	大浦獅子舞			10月第3日	大浦阿蘇神社	町内の大浦地区で10月中旬に行われます「阿蘇神社例祭」で奉納されます。笛、太鼓、ドラ、チャルメラに合わせて、子役が演じる玉振りの玉にじやれながら、獅子がときには静かに、またときには荒々しく舞います。《演目》出入り、しらみとり、大振り、さかだち、かやし、かぐめ、ふせ、本楽。【有明町HP/2005】 《構成》獅子1頭(2人立ち)、太鼓打ち1、笛5、チャルメラ5、小神馬役5、玉振り1。【1991】				
34	天草市	姫戸町	姫戸念珠棒踊り			1月1日 11月3日	町内8ヶ所 姫戸小グランド	《特色》12人の男女が赤穂義士のようないでたちで歌に合わせて踊る。童ヶ岳町の大道から大迫山を経て昭和15～16年頃(二間戸青年団に伝えられたのが始まり)だという。【1991】				
35	天草市	龍ヶ岳町大道	大道棒踊り			10月10日	大道中グランド	《演目》ゆりこみ、おせろ、かまくら、くどき、かえり。《特色》西南の役の時に出水(鹿児島県)から習ってきたという。現在、大道中学校の生徒により伝承されている。【1991】				
36	天草市	龍ヶ岳町高戸	高戸神社秋季祭礼神幸行列			10月14日 10月15日	高戸神社	《特色》行列は、獅子2頭～塩水3～狭箱2～大傘・熊毛・鳥毛40～太鼓打ち13～五色旗～神饌～真神～神輿～神職の順である。【1991】	祭礼 (神社行事)			
37	天草市	龍ヶ岳町高戸	高戸神社奉納神楽			10月14日 10月15日	高戸神社	《特色》男児により舞われる。2人舞いと3人舞いがある。楽は太鼓のみ。【1991】	祭礼 (神社行事)			
38	天草市	龍ヶ岳町高戸	高戸神社太鼓踊り			10月15日	高戸神社	《特色》10人の男の子が2列になって順番に太鼓をたたく。神幸行列の中で演じられる。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
39	天草市	龍ヶ岳町高戸	高戸神社奉納獅子舞			10月15日	高戸神社	《演目》前奏、1番、2番、3番、4番。《構成》雄・雌獅子(ともに2人立ち)、つり子2、太鼓1、ドラ1、笛7。【1991】	祭礼 (神社行事)			
40	天草市	栖本町馬場(湯船原)	栖本の太鼓踊り	すもとのたいこおどり	熊本県重要無形民俗文化財 昭和55年3月3日	1月第2日 11月11日	栖本諏訪神社	11月13日、栖本諏訪神社例大祭に奉納。この踊りは、江戸時代公金才1806年、氏子の太鼓打ち名人「辰五郎」が振付けを完成させたと言われる。現在は町青年団が伝承。台湾での観光協会主催の海外公演も予定されている。18才から31才までの男女25人の団員たちは、みこし、鳥毛、獅子舞に続き、お旅所を出発。町役場前などを巡り、神社まで約4キロの道中を進む。朱色の法被姿の打ち手たちは、房の付いたばちをくると回転させ、代わる代わる大太鼓を響かせる。笛と小太鼓に合わせ、しゃがんで跳躍する激しく華麗な演舞。【2005.11.15.熊日】 華麗なバチさばきに圧巻！ 栖本太鼓300年以上の伝統を誇る踊りで、勇壮さと絢爛さがミックスした、変化のある激しい動きが特徴です。県の重要無形民俗文化財にも指定されています。頭上での華麗なバチさばきは必見！ 栖本例大祭は、毎年11月の第2日曜に、町内湯船原地区を中心に開催。古くから伝わる、まちで一番大きなお祭りです。【栖本町HP/2005】 この太鼓踊りは正徳4年(1714)に京都から伝わったものを文化3年(1806)に太鼓打の名手辰五郎が笛と舞を加え現在の形となったという。演目は「道中の踊り」「中核の踊り」「不知火の踊り」などがある。天草には同様の太鼓踊りが数多いが、その中でも勇壮で華やかなものである。公開日：11月11日【熊本県ありのままHP2005】 諏訪神社への思慕と畏敬の念を象徴するような太鼓踊り。激しい動きと変化が【2001】 《構成》太鼓持ち2、踊り14、小太鼓1、笛4。《演目》道中の踊り、中核の踊り、不知火の踊り。【1991】	【伝統芸能】 風流芸	栖本町教育委員会 0969(66)2293 【交通アクセス】 九州産交バス 円性寺下 下車徒歩3分		

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合先	祈願
41	天草市	新和町大宮地	大宮地神社神幸行列			10月20日 前後の日 曜	大宮地八幡宮	《特色》行列は、露払い1～神主1～道具持ち1～獅子2～玉振り2～薙刀5～鳥毛18～御輿3。【1991】	祭礼 (神社行事)			
42	天草市	新和町大宮地	大宮地八幡宮獅子舞			10月20日 前後の日 曜	大宮地八幡宮	《構成》獅子2頭(ともに2人立ち)、玉振り2、笛5、大太鼓1、小太鼓1、ドラ1。【1991】				
43	天草市	新和町小宮地	小宮地虫追い踊り			4月下旬	小宮地地区	住民たちが五穀豊穡を祈って笛や太鼓、ホラ貝などを鳴らし、乱舞して害虫を追い出す伝統の虫追い祭りが20日、早期米で知られる天草市新和町の5地区であった。小宮地地区では、地区の水不足解消のために先祖がため池造りをしたことに対する顕彰碑がある家で、約100人が神事に参加した。法被に鉢巻姿の新和中学校2、3年生や早乙女姿の女性ら約80人が、かねや太鼓のリズムや「ヨイヤマカセ～、ヨイヤマカセ～、ソレ、今日の虫えはよかひより、ソレ」の歌に合わせて虫追い踊りを披露した。【2008.4.22朝日】 《構成》笛踊り10、太鼓1、太鼓踊り10、笛5、カネ1、太鼓持ち2。【1991】				
44	天草市	新和町中田	中田の虫追い踊り			4月下旬	中田地区	住民たちが五穀豊穡を祈って笛や太鼓、ホラ貝などを鳴らし、乱舞して害虫を追い出す伝統の虫追い祭りが20日、早期米で知られる天草市新和町の5地区であった。【2008.4.22朝日】 《構成》旗持ち5、太鼓踊り20、太鼓持ち2、笛5、カネ1、小太鼓2。 《特色》町内を練り歩き、10ヶ所で虫追い踊りを演じたあと、海岸へ虫を追い払う。【1991】				
45	天草市	新和町大田尾字下大田尾	下大田尾虫追い踊り			4月下旬	下大田尾区	住民たちが五穀豊穡を祈って笛や太鼓、ホラ貝などを鳴らし、乱舞して害虫を追い出す伝統の虫追い祭りが20日、早期米で知られる天草市新和町の5地区であった。【2008.4.22朝日】 《構成》笠踊り10、太鼓持ち2、太鼓踊り10、笛3、カネ1。【1991】				
46	天草市	新和町大田尾中央	大田尾中央虫追い踊り			4月下旬	大田尾中央区	住民たちが五穀豊穡を祈って笛や太鼓、ホラ貝などを鳴らし、乱舞して害虫を追い出す伝統の虫追い祭りが20日、早期米で知られる天草市新和町の5地区であった。【2008.4.22朝日】 《構成》笠踊り10、太鼓持ち2、太鼓踊り10、笛3、カネ1。《特色》笠踊りを先頭に、町内を練り歩き、10ヶ所で虫追い踊りを演じたあと、海岸へ虫を追い払う。【1991】				
47	天草市	新和町大田尾字小峰	小峰虫追い踊り			4月下旬	小峰区	住民たちが五穀豊穡を祈って笛や太鼓、ホラ貝などを鳴らし、乱舞して害虫を追い出す伝統の虫追い祭りが20日、早期米で知られる天草市新和町の5地区であった。【2008.4.22朝日】 《構成》太鼓持ち2、太鼓踊り10、笛3、カネ1。【1991】				
48	天草市	五和町御領	御領神社獅子舞い			10月 第3土日	御領神社	《構成》青獅子、赤獅子(ともに2人立ち)、玉振り。《特色》神幸行列とは別に氏子の家を清めて回る。【1991】				
49	天草市	五和町御領	御領神社神幸行列			10月 第3土日	御領神社	《特色》行列は先頭率領1～供物棒持2～挨拶2～台・立傘4～笛10・太鼓4～鳥毛20～賽銭箱1～宮司・氏子の順で、道中、台傘・立傘4～鳥毛20～賽銭箱1～宮司・氏子の順で、道中・台傘・立傘・挟み箱の口説きに合わせて鳥毛が、道中の所作、横振りの所作、鳥居入りの所作など奴踊りが行われる。【1991】	祭礼 (神社行事)			
50	天草市	五和町井手	井手神社秋祭り			10月15日 10月16日	井手神社	《特色》神幸行列が行われ、鳥毛、挟み箱の奴踊りと獅子舞いが演じられる。【1991】				
51	天草市	天草町福連木	福連木神社神幸行列			10月21日 10月22日	福連木十五社宮	《特色》台傘、立傘、鳥毛、挟み箱の奴踊りと獅子舞い(2人立1頭)と太鼓踊りが演じられる。【1991】	祭礼 (神社行事)			

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
52	天草市	天草町大江	大江八幡宮神幸行列			旧3月15日 旧9月15日	大江八幡宮	《特色》鳥毛、挟み箱の奴踊りと獅子舞い(2人立2頭)と太鼓踊りが演じられる。【1991】	祭礼 (神社行事)			
53	天草市	天草町軍ヶ浦	軍ヶ浦十五柱神社神幸行列			旧2月18日	軍ヶ浦十五柱神社	《特色》鳥毛、挟み箱の奴踊りと獅子舞い(2人立2頭)と太鼓踊りが演じられる。【1991】	祭礼 (神社行事)			
54	天草市	天草町下田南	小田床天満宮神幸行列			旧8月25日	小田床天満宮	《特色》台傘、鳥毛、挟み箱の奴踊りと獅子舞い(2人立1頭)、と太鼓踊りが演じられる。【1991】	祭礼 (神社行事)			
55	天草市	河浦町今田	今村神社秋祭り			11月第2日	今村神社	《特色》男児による神楽、巫女神楽、獅子舞い、太鼓踊りが演じられる。【1991】				
56	天草市	河浦町大字河浦	一町田八幡宮祭礼神幸行列			11月15日	一町田八幡宮	《特色》行列は塩振り～社名旗～挟み箱～台傘～立傘～鳥毛～金幣～御神輿の順で、この他に太鼓踊り、獅子舞いが行われる。【1991】	祭礼 (神社行事)			
57	天草市	河浦町大字河浦	一町田八幡宮祭礼獅子舞			11月15日	一町田八幡宮	《演目》「お立ちの舞」は2頭の獅子(2人立ち)をそれぞれ玉振りの童子にあやされて、神幸行列の先頭に立つ舞い。「休み場での舞」は、玉振りのあやす赤玉と鈴玉を獅子が欲しががる舞。「宮入りの舞」は玉振りと雄獅子と雌獅子が舞いながら、御神輿を迎える舞いである。【1991】				
58	天草市	河浦町今富	今富神社太鼓踊り			旧9月18日 旧9月19日	今富神社	《構成》大太鼓2、踊り手は2人1組で2組、小太鼓1、笛10人。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
59	天草市	河浦町崎津	崎津諏訪神社秋季大祭神幸行列	さきつすわじんじゃしゅうきたいさいしんこうぎょうれつ		11月15日	崎津諏訪神社	神幸行列が国の重要文化的景観の崎津地区の漁村集落を練り歩く。五穀豊穡と家内安全を願い300年以上続くとされる。正午前、白装束と女装の男性2人の塩振り役を先頭に、約60人の行列が神社を出発。羊角湾を挟んで対岸にある向江地区で折り返し、崎津教会の前を通る約6キロを歩いた。地区の休憩所などでは大太鼓踊りを披露。神社に戻り、みこしを担いだ男衆が境内の階段を一気に駆け上がると、集まった住民から歓声が上がった。【2013.11.25熊日】 《特色》挟み箱と鳥毛の奴踊り、獅子舞、太鼓踊りが演じられる。【1991】	祭礼 (神社行事)			
60	天草市	河浦町新合	津留神社例大祭神幸行列			11月15日	津留神社	《特色》鳥毛、弓、鉄砲、長刀の奴踊り、獅子舞(2人立2頭、玉振り2人)、太鼓踊りが演じられる。社殿では神楽(男児2人舞)も舞われる。【1991】	祭礼 (神社行事)			五穀豊穡
61	天草市	河浦町宮野河内上平	産島八幡宮秋季大祭			11月1日 ～ 11月3日	上平八幡宮	宮野河内地区の無人島産島にある同宮の祭神を年に一度、対岸の上平十五社宮に移し、海上安全や豊漁を祈る祭り。「お上り」では神事後、担ぎ手たちが約200キロの神輿を船に積み祭神を同宮に送り届けた。産島は熊襲征伐で九州に来た神功天皇が応神天皇を産んだ場所とされ、同八幡宮の水を飲むと安産になるという言い伝えがある。【2008.10.27熊日】 《特色》産島という無人島に祭られる神様を船でお迎えして行うお祭りで、上平港に上陸した後、鳥毛の奴踊り、獅子舞(2人立2頭)、太鼓踊りが演じられる。【1991】	祭礼 (神社行事)			
62	天草市	(旧牛深市)久玉町	久玉八幡宮秋季大祭奉納獅子舞い			旧9月18日 旧9月19日	久玉八幡宮	《構成》雄獅子、雌獅子(ともに2人立)、玉取り1人、太鼓2人、笛6人。【1991】	祭礼 (神社行事)			
63	天草市	(旧牛深市)久玉町	久玉八幡宮秋季大祭神幸行列			旧9月18日 旧9月19日	久玉八幡宮	《特色》行列は、塩振り一挟み箱一提灯一大傘一立傘一鳥毛一神輿の順である。【1991】	祭礼 (神社行事)			

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
64	天草市	(旧牛深市)魚貴	魚貴住吉神社秋季大祭塩振り踊り	おにきすみよしじん じゃしゆうきたいさいし おふりおどり	牛深市無形民俗文化財 昭和55年4月1日	旧9月22日 旧9月23日 旧10月15日	魚貴住吉神社	26、27日の両日、住吉神社の秋祭り、狩衣、烏帽子姿の子どもたちが「塩振り踊り」を披露し、神幸行列が集落を練り歩いた。江戸時代に大坂の住吉神社の祭りを習得した住民らが代々、踊りなどを受け継いできたとされる。塩振りは、手おけの塩水を笹で振りまいて神幸行列の道中を清める露払いの役割。現在は、塩水の代わりに酒を入れる。27日は、旅先のお飯屋から約1キロの同神社まで戻る「お上り」があった。【2013.10.28熊日】 約300年前大坂の住吉宮の祭典行事を修得し、当時のまま伝承されている。【2001】 《特色》2人の男の子が手桶と櫛を持ち体を左右に大きく振って踊る。天草地区の神幸行列で塩振りが付くところは他にも多いが、踊りになっているのはここだけである。【1991】	祭礼 (神社行事)			
65	天草市	(旧牛深市)魚貴	魚貴住吉神社秋季大祭			旧9月22日 旧9月23日	魚貴住吉神社	《特色》22日の午後、神事後神楽、獅子舞が行われ、塩振り踊りの後、神幸行列が行われる。神幸行列の順は、塩振り(2人)―大鬼(1人)―御手振り(2人)―挟み箱(1対)―烏毛(50人)―神輿である。【1991】	祭礼 (神社行事)			
66	天草市	牛深町	牛深八幡宮秋季大祭			旧9月14日 ～ 旧9月16日	牛深八幡宮	《特色》14日午後祭りが始まる。神事後、境内で巫女舞い(豊栄の舞)が行われ、続いて獅子舞が奉納される。その後神幸行列が行われる。【1991】	祭礼 (神社行事)			
67	天草市	牛深町	牛深八幡宮秋季大祭神幸行列			旧9月14日 ～ 旧9月16日	牛深八幡宮	《特色》行列の順序は塩振り―提灯―大傘―立傘―挟み箱―烏毛―神輿と続く。行列の途中、真浦から天附までは海上神幸が行われる。【1991】	祭礼 (神社行事)			
68	天草市	(旧牛深市)魚貴町	魚貴住吉神社秋季大祭奉納獅子舞			旧9月22日 旧9月23日	魚貴住吉神社	《構成》雄獅子、雌獅子(ともに2人立)、玉取り2人、太鼓4人、笛6人。【1991】				
69	天草市	天草町高浜	高浜八幡宮秋の大祭太鼓踊り	たかはまはちまんぐう あきのたいさい たいこおどり		旧8月15日	高浜八幡宮	高浜八幡宮の秋季例大祭の花形、太鼓踊り。現在担い手不足が深刻となり関係者を悩ませている。例大祭は、収穫に感謝し、五穀豊穡を祈る古くからの神事。太鼓踊りや獅子舞などを、各地区の氏子が分担して受け継ぎ、太鼓踊りは中向地区の小3～中2頃までの男子2人が担ってきた。太鼓踊りは、境内での踊り奉納を含め、神幸行列が地域を練り歩く際に太鼓を打ち鳴らす重要な役目。【2006.9.9.熊日】			五穀豊穡	
70	天草市	下田南	小田床音頭			9月24日	下田南小学校運動会	昭和20年代に作られたものの、長く途絶えていた下田南地区の小田床音頭が住民の手で約半世紀ぶりに復活。下田南小学校運動会で、よみがえった曲に合わせて児童と住民約120人が踊りを披露。住民によると小田床音頭は、大戦末期の1945年9月まで同小に勤務した教諭が作詞作曲した。小田床は、下田南地区の昔の地名、数年前は地元の祭りや行事で踊られていたが、次第に途絶えたという。5月に、残る伝統文化を再発見しようと、下田南地区振興会が運動会で音頭復活を計画。楽譜などは残っていなかったが地元住民が中心となり覚えていたお年寄りら約30人から歌詞やメロディーを聞き取り、再構成。歌詞の不明な部分は新しく補い、8月末には、地元の地名や方言を盛り込んだ8番までが完成した。【2006.9.25.熊日】		下田南地区振興会		
71	天草市	牛深町	元ハイヤ	もとはいや		11月28日 旧10月15日	加瀬浦公民館	えびす祭りの恒例行事。巻き網漁が盛んだった昭和20～30年代は漁船団ごとに宴会を開き、漁師以外の住民も一緒に踊っていた。近年は、船団が一つだけになり、踊る人も減っている。振付に決まった型はなく、車座の中で即興で踊る。【2012.11.29熊日】				
72	天草市	中心部	天草ほんどハイヤ祭り	あまくさほんどはいや まつり		7月28日		企業や官公庁など27団体から参加した約2000人が天草市中心部を踊り歩く。【2012.7.30朝日】				

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
73	天草市	本町	肥後神楽	ひごかぐら		10月14日	鈴木神社	「天草・島原の乱」からの復興に尽力した天草の初代代官・鈴木重成の没後360年を記念する大祭が14日、重成を祭る天草市本町の鈴木神社であった。54年ぶりに肥後神楽が奉納された。天草には、固有の神楽がなく、昭和30年に地元の神職らが肥後神楽の奉納を始めたが、数年で途絶えた。大祭を記念し、肥後神楽会(熊本市)から習い、復活させた。祭りでは、島内の各神社が年替りで芸能を奉納。【2013.10.16熊日】				
74	天草市	本町本	塩振り踊り	しおふりおどり		11月23日	鈴木神社	秋季例大祭にて、神殿前で「塩振り踊り」が奉納された。踊りは魚貫住吉神社の神幸行列を先導する役柄。天草の初代代官・鈴木重成をまつる同社には、島内各社から年替りで芸能が奉納されている。手桶の塩水を笹で振りまき、道中を清める古式の舞。太鼓と笛が扇動的に高まる中、観衆の中を大振りの振付でゆっくり進んだ。【2010.11.24熊日】				